

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	①各種感染症対策を十分配慮しながら「一校一実践」(長縄記録会)を取り入れ、体を動かす活動に取り組む。 ②学校保健委員会のテーマにもとづき、健康づくりに取り組む。 ③食育教育全体計画に基づき、各教科と関連させた取り組みを行う。
担当	体育部 保健部

健やかな体に関わる本校の状況
<p>(1) 健やかな体に関わる児童の実態</p> <p>○横浜市学力・学習状況調査の生活実態調査では、学年により差はあるが「体を動かすことは好き」「自主的に運動・スポーツをする時間を持ちたいと思う」「さまざまな人と関わり、だれとでも運動・スポーツを楽しみたいと思う」の項目が市の平均を下回るか同程度である。また、ゲームやスマホ、パソコンを視聴している児童の割合は、1時間以上2時間未満の児童の占める割合が高くなっている。なお、2時間以上の児童は市平均程度である。</p> <p>○横浜市体力・運動能力調査では、全学年を通して、反復横跳びの平均が低い。また、男子においては20mシャトルラン、立ち幅跳びの平均も下回っている。</p> <p>(2) これまでの学校の取組状況</p> <p>○体育科では、友達との関わりを大切に授業を実施してきた。</p> <p>○朝体育や児童保健体育委員会の活動の一環として、児童が運動を身近に感じられるような活動を行ってきた。</p> <p>1学期・・ラジオ体操 2学期・・ラジオ体操 3学期・・長縄</p> <p>○スポーツフェスティバルでは、全校での団体競技もを行い、スポーツを通してコミュニケーションの推進と主体的に運動に取り組める活動を取り入れることができた。</p>

今年度の目標
①運動活動の機会を増やし、その楽しさに触れ、自分からすすんで運動する子どもの育成を目指す。 ②屋外で積極的に体を動かす児童の数を増やし、スポーツを通してのコミュニケーションの促進を図る。

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	○課題解決に向けた具体的な実践につなげられるようにするために、横浜市体力・運動能力調査や健康診断の結果を一人一人の児童が振り返る時間を設定する。 ○体育科の学習では、自分の思いや考えを表現できる力を育成するために、学習カードやICT端末に自分の考えをまとめられるようにしたり、それをもとにお互いにアドバイスし合ったりできるようにする。 ○楽しみながら自分の成長が実感できるように、月に1度全校で簡単に取り組めるようなイベントを設け、スポーツを通してコミュニケーションの推進と主体的に運動に取り組む活動を取り入れる。 1学期:短縄 2学期:長縄 ○学校保健委員会のテーマにもとづき、健康づくりに取り組んでいく。 ○学校保健委員会のテーマ「ふわふわ言葉で自分も友達も大好きになろう」について、各学級で取り組み、心の健康を目指す。
下半期	○上半期と同様、課題解決に向けた具体的な実践につなげられるようにするために、横浜市体力・運動能力調査や健康診断の結果を一人一人の児童が振り返る時間を設定する。 ○スポーツフェスティバルでは、体育科の授業の中で培った資質・能力をさらに発展させ、学習したことの発表の場として位置づける。また、他学年と運動を通してコミュニケーションがとれるよう、多様な団体競技を取り入れる。 ○楽しみながら自分の成長が実感できるように、月に1度全校で簡単に取り組めるようなイベントを設け、スポーツを通してコミュニケーションの推進と主体的に運動に取り組む活動を取り入れる。 2学期:長縄 3学期:短縄、長縄 ○学校保健委員会のテーマにもとづき、健康づくりに取り組んでいく。 ○学校保健委員会の活動を振り返り、心と身体は密接な関係にあることを理解する。